



令和3年度 小学校各教科等担当指導主事連絡協議会

道徳教育の**カリキュラム**・マネジメント

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見 哲也

自校の道徳教育をチェック!!

全教育活動を通じて行う道徳教育での指導が意図的・計画的に行えているか？

週1回の道徳科の授業が着実に行われ、全教育活動を通じて行う道徳教育の要として機能しているか？

道徳教育及び道徳科において、子供たちのよさを認め、励ます評価ができているか？

全教育活動を通じて行う 道徳教育の推進

道徳

道徳教育の要となる
道徳科の授業の充実

全教育活動を通じて行う 道徳教育の推進

カリキュラム・マネジメント

補充・深化・統合

指導と評価の一体化

道徳教育の要となる
道徳科の授業の充実

全教育活動を通じて行う
道徳教育

道徳的実践の指導

最後まで諦めずに、力を出し切りましょうね！

希望と勇気、努力と強い意志

さあ！今度の運動会では、がんばりましょう！

友達と協力し、助け合って、演技を成功させましょう！

友情、信頼



競技では、ルールを守って競い合いましょうね！

規則の尊重

校庭はみんなで使う場所です。ゴミは必ず持ち帰りましょう！

勤労、公共の精神

全教育活動を通じて行う**道徳教育**

早寝、早起き、朝ご飯、
しっかりできていますか？

節度、節制

朝顔の種を蒔きますよ。
何色の花が咲くかな？

自然愛護

おじいちゃん、おばあちゃんに
手紙を書きましょう！

感謝

生命を大切にしま
しょう！

生命の尊さ



絵を描くのが
上手だね！

個性の伸長

困難を乗り越えて、希望を
もって生きていきましょう！

よりよく生きる喜び

全教育活動を通じて行う道徳教育

せっかく同じクラスになったのだから、友達どうし仲良くしましょうね！

友情、信頼

違う考えでも、相手の立場になってよく聞きましょう！

相互理解、寛容

自分が差別されたらどんな気持ちになるか、考えてみようよ！

公正、公平、社会正義

いじめをしてはいけません！



学級目標に向けてみんなで力を合わせ、すばらしい学級をつくっていきましょうね！

よりよい学校生活、集団生活の充実

A 主として自分自身に関すること

[善悪の判断, 自律, 自由と責任][正直, 誠実][節度, 節制]
[個性の伸長][希望と勇気, 努力と強い意志][真理の探究]

B 主として人との関わりに関すること

[親切, 思いやり][感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

C 主として集団や社会との関わりに関すること

[規則の尊重][公正, 公平, 社会正義][勤労, 公共の精神]
[家族愛, 家庭生活の充実][よりよい学校生活, 集団生活の充実][
伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度][国際理解, 国際親善]

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

学校の教育活動全体を通して



道徳教育と各教科等の目標、内容及び教材とのかかわり

国語：伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うこと及び言語活動を豊かにするなど

社会：多角的な思考や理解を通して我が国の国土と歴史に対する愛情を育てるなど

算数：日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力を育てるなど

特別活動：集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮し、集団や自己の生活上の課題を解決するなど

各教科等における道徳教育

理科：栽培や飼育などの体験活動を通して自然を愛する心情を育てることなど

総合的な学習の時間：探究課題の解決を通して、主体的に判断して学習活動を進めたりするなど

生活：自然との関わりに関心をもったり、自分のよさや可能性に気付くなど

外国語科・外国語活動：外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うなど

音楽：音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、豊かな情操を培うことなど

体育：最後まで粘り強く取り組む、気持ちのよい挨拶をする、仲間と協力するなどの態度を養うなど

家庭：日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育てること

図画工作：つくりだす喜びを味わうようにし、美しいものや崇高なものを尊重する心を育てるなど

何をやっても**道徳教育**

何から手をつければよいか
分かりにくいのも**道徳教育**

分かりやすく推進するのが
道徳教育

道徳教育の推進を図るために…

カリキュラム・マネジメント

学校が主体的に児童生徒や地域の実態など
様々な事項を的確に把握して、
育てたい児童（生徒）像を明確にして
目標を設定し、計画を立てて、
教職員が**共通理解**、**共通実践**できるようにする

校長の
リーダーシップ



学校の
組織力



目指す児童像の設定の例

あかるく

明るく生きる子

◆笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

なかよく

共に生きる子

◆思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子

たくましく

力強く生きる子

◆夢や目標に向かって、粘り強く努力できる子

教育活動全体を通じて行う**道徳教育**

◆笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

◆思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子

◆夢や目標に向かって、粘り強く努力できる子

これらの児童像に**関連の深い内容項目**を洗い出してみましょう。

これらの内容項目は**1年間に複数回授業を行う**ことにしましょう。

道徳科の授業以外でも、**この内容項目に関わりのある教科や行事**などもあるので、各学年ごとに洗い出してみましょう。



道徳教育推進教師
を中心とした
道徳部会

目指す児童像に関わる内容項目の例

あかるく (B礼儀 C規則の尊重)

◆笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

なかよく (B親切、思いやり B友情、信頼)

◆思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子

たくましく (A希望と勇気、努力と強い意志)

◆夢や目標に向かって、粘り強く努力できる子

年間指導計画の内容項目の配当時間数の例

◆笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

重点内容項目（B礼儀 C規則の尊重）

視 点	内容項目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
A	真理の探究					1	1
	親切、思いやり	3	3	3	2	2	2
B	感謝	2	1	1	1	1	2
	礼儀	3	2	3	2	3	2
	友情、信頼	2	2	1	2	1	2
	相互理解、寛容			1	2	2	2
C	規則の尊重	3	3	3	3	3	3
合 計		34	35	35	35	35	35

略

略

道徳教育全体計画別葉作成例

◆笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

重点内容項目（B礼儀 C規則の尊重）

【第4学年の例】

内容項目	国語	算数	理科	学校行事	...
...		
礼儀	お願いやお礼の手紙を書こう			入学式(4月) 卒業式(3月)	
...		
規則の尊重	図書館へ行こう	折れ線グラフと数 角の大きさ		運動会(5月) 校外学習(9月)	
...					
生命の尊さ	一つの花		生き物のくらし	人権集会(6月) いじめ撲滅運動(10月)	...

「規則の尊重」に関する指導

道徳教育は道徳科の授業だけで行っているわけではありません。授業後も、様々な教育活動の中で、意図的・計画的に指導をしていきます。

廊下は右側を歩きましょうね。

休み時間

ルールを守って競い合
いましょうね！

体 育

図書室では静かにしまし
ょうね。

総合的な学習の時間

約束やきまりが守れる子



きまりを守るのは、みんなが気持ちよく生活するためなんだ！

道 徳

年間指導計画の見直し例

◆笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

重点内容項目（B礼儀 C規則の尊重）

【全学年】

目指す児童生徒像がこのような内容であれば、**道徳科**の授業を**要**として、特に1学期に重点的に取り組むことにしましょう。



先生方も、1学期は、「**礼儀**」や「**規則の尊重**」を意識して、指導に当たってくださいね。

私の全校朝会の講話も、**あいさつ**や**きまりの大切さ**について話をするにしよう。



道徳科の年間指導計画の主題配列の工夫例

◆笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

重点内容項目（B礼儀 C規則の尊重）

学期	月	週	回	主題名	内容項目	教材名	備考
1 学期	4 月	1	1	1日の始まり	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		2	2	安全な生活	A 節度、節制	〇〇〇〇〇	
		3	3	きまりは何のために	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇	
	5 月	1	4	権利と義務	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇 〈〇県 郷土資料集〉	
		2	5	自他の生命の尊重	D 生命の尊さ	〇〇〇〇〇 〈「私たちの道徳」文科省〉	
		3	6	まごころの形	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		4	7	長所と短所	A 個性の伸長	〇〇〇〇〇	

「規則の尊重」に関する指導

きまりを守るという指導に関わるのは「規則の尊重」という内容項目だけではなく、**道徳科**の様々な内容項目とも関わって指導することもできるのです。

約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。

規則の尊重

正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。

善悪の判断、自律、自由と責任

自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度ある生活をする。

節度、節制

約束やきまりが守れる子

生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。

生命の尊さ





家庭や地域社会との連携



	目指す児童像の重点	重点内容項目	家庭や地域社会との連携
1学期	笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子	B礼儀 C規則の尊重	子供と地域のあいさつ運動 交通安全指導 等
2学期	思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子	B親切、思いやり Cよりよい学校生活、 集団生活の充実	地域の敬老会への参加 福祉施設訪問 道徳授業公開 等
3学期	夢や目標に向かって、粘り強く努力できる子	A希望と勇気、努力と強い意志 Dよりよく生きる喜び	職業体験 夢を語る発表会 等



積極的な情報発信による、
「**社会に開かれた教育課程**」の実現



要となる道徳科

道徳教育と道徳科の関係

道徳教育は、特別の教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、（外国語活動）、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童（生徒）の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

道徳教育と道徳科の関連を図るために…

補充・深化・統合

特に、各教科、(外国語活動)、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育として取り扱う機会が十分でない内容項目に関わる指導を補うことや、児童(生徒)や学校の実態等を踏まえた指導をより一層深めること、内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりすることに留意すること。

「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2

道徳教育と道徳科の関連を図るために…

補充・深化・統合

全教育活動を通じて行う道徳教育の中では

補充

機会が少ないから道徳科の授業で確実に扱う。

深化

十分な指導ができず、心に届いていないから道徳科の授業でしっかり指導する。

統合

ばらばらなので、つながりを知り、より深く理解したり、発展させたりする。

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

「小・中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」

目標

道徳教育における道徳性の捉え方

道徳的判断力

それぞれの場面で善悪を判断する能力

道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情

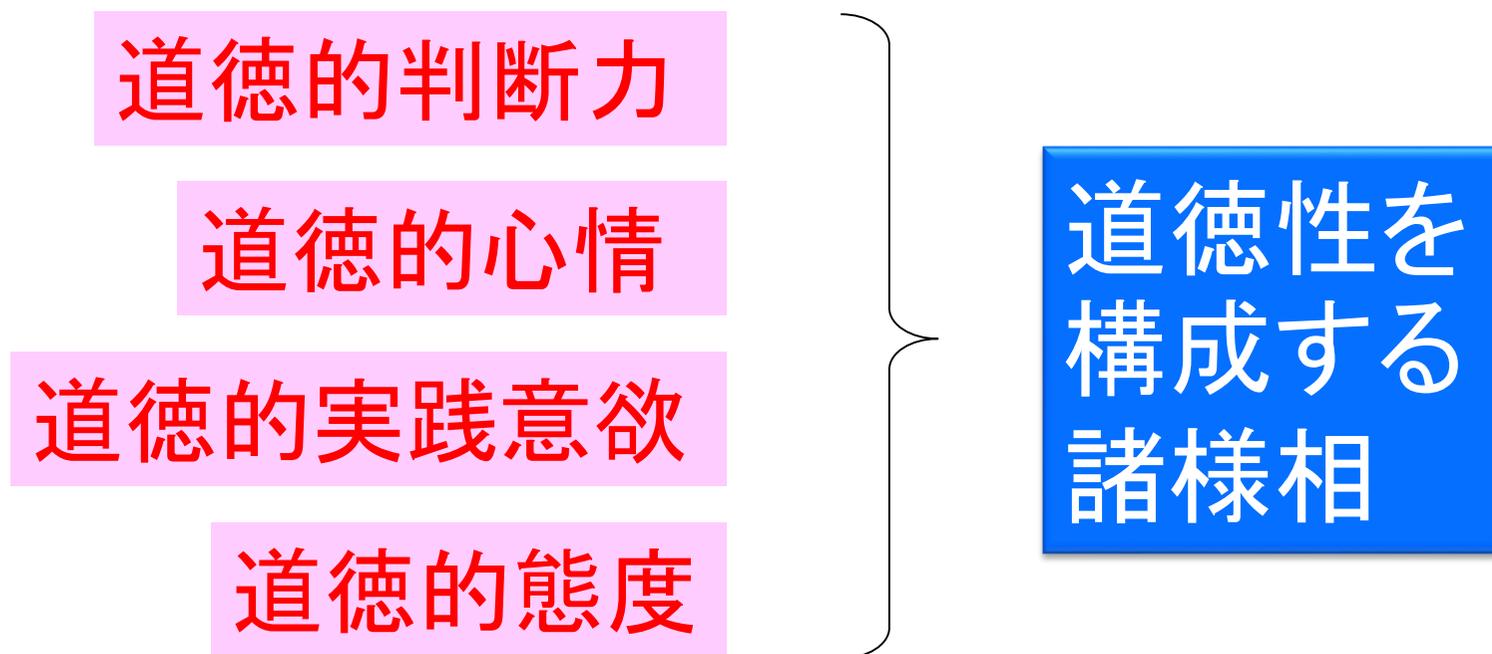
道徳的実践意欲

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き

道徳的態度

道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

学校教育の**道徳教育**における**道徳性**の捉え方



一人一人の児童(生徒)が道徳的価値を自覚し、自己の(人間としての)生き方についての考えを深め、日常生活や今後出会うであろう様々な場面、状況で、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような**内面的資質**

道徳科の指導と評価

例：第4学年 年間指導計画の主題配列表

学期	月	週	回	主題名	内容項目	教材名	備考
1 学期	4 月	1	1	1日の始まり	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		2	2	安全な生活	A 節度、節制	〇〇〇〇〇	
		3	3	生命の重み	D 生命の尊さ	〇〇〇〇〇	
	5 月	1	4	みんな生きている	D 自然愛護	〇〇〇〇〇	
		2	5	本当の友達	B 友情、信頼	〇〇〇〇〇	
		3	6	きまりは何のために	C 規則の尊重	雨のバス停留所で	
		4	7	長所を伸ばす	A 個性の伸長	〇〇〇〇〇	

年間指導計画を見ると、来週は、活用する教材が『**雨のバス停留所で**』となっています。内容項目はCの視点の**[規則の尊重]**です。



教材

雨のバス停留所で

出典 「わたしたちの道徳」小学校3・4年(文部科学省)

雨降りの日に母親と外出した「よし子」。停留所から少し離れたのき下で雨宿りをしてバスを待つ人々。バスが来ると、「よし子」は停留所に近づき、先にバスに乗り込もうとする。しかし、母親に引き戻され、乗客の後ろに並んでバスに乗り込む。バスの中で母親の横顔を見て、自分の行為を振り返る。



道徳科の授業構想

指導の意図を明確にするために

道徳的
価値

ねらいとする道徳的価値（内容項目に含まれるもの）について、学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。

- 道徳的価値の意義を理解し、指導の考え方を明確にする。

内容項目（規則の尊重）

小学校 第1学年及び第2学年

約束やきまりを守り、**みんなで使う物**を大切にすること。

小学校 第3学年及び第4学年

約束や**社会のきまり**の意義を理解し、それらを守ること。

小学校 第5学年及び第6学年

法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の**権利**を大切にし、**義務**を果たすこと。

内容項目（遵法精神、公德心）

中学校

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、その**よりよい在り方**について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、**規律ある安定した社会の実現**に努めること。

道徳科の授業構想

指導の意図を明確にするために

児童の
実態

ねらいとする道徳的価値について、日頃どのような指導を行い、その結果としての児童にどのようなよさや課題があるのか、その上で、本時で学ばせたいことは何かを明らかにする。

- 日頃の教育活動を振り返り、
児童の実態を明確にする。

これまでの教育活動

1学期は、学級活動で学級のきまりをつくったり、交通安全指導で交通ルールを守ったりするなど行い、きまりの大切さを理解することができてきた。

児童の実態把握

◆5月初旬の社会科見学の様子

- しゃべったり、ふざけたりした
- 時間を守って行動できなかった
- 不要な物を持っていった
- けんかをした

指導してきただけなのに。



◆事前アンケート 「きまりがあっても守れないのはどうしてか？」

- 自分の好きなことだけをやりたい。
- めんどくさい。
- きまりを忘れてしまって、きまりが守れない。
- きまりなんかなくていいと思っている。

児童の問題点

- ・きまりがあることに気が付かない
- ・きまりの必要性が感じられない

道徳科の授業構想

指導の意図を明確にするために

教材の
活用

授業者の明確な意図、児童の実態をもとに、教材をどのように活用し、どのような学習を行うのかを明らかにする。

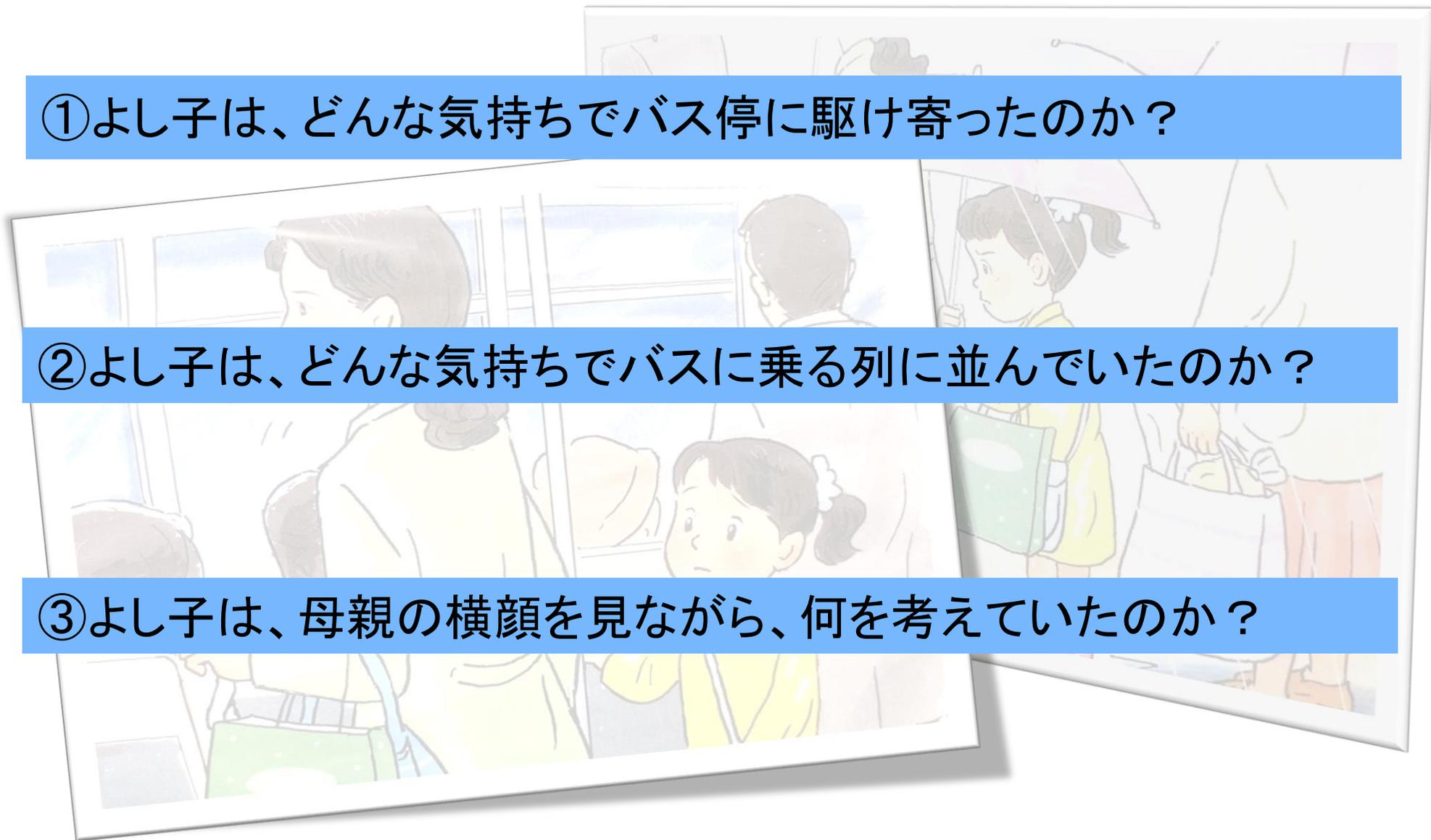
- 指導の意図を明確にした
教材活用、学習展開を明確にする

話合いの場面と発問の例

①よし子は、どんな気持ちでバス停に駆け寄ったのか？

②よし子は、どんな気持ちでバスに乗る列に並んでいたのか？

③よし子は、母親の横顔を見ながら、何を考えていたのか？



道徳科の授業構想

指導の明確な意図とは…

- 1 ねらいとする道徳的価値(内容項目に含まれるもの)について、学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。
- 2 ねらいとする道徳的価値について、日頃、どのような指導を行い、その結果としての児童のよさや課題を確認し、本時で学ばせたいことを明らかにする。
- 3 授業者の意図、児童の実態をもとに、教材をどのように活用し、どのような学習を行うのかを明らかにする。

道徳的
価値

児童の
実態

教材の
活用

主題設定の理由

道徳科の授業

要因

きまりは生活の自由を制限するもので肯定的に受け止められていない。

ねらいの例

きまりを守ることが、みんなが気持ちよく生活できるようになることに気付かせ、社会のきまりを守ろうとする心情を育てる。

道徳科の授業

要因

周囲に目が向けられず、自己中心的な言動により、きまりが守られていない。

ねらいの例

きまりの意義を理解し、みんなのことや
周り状況を考えて、きまりを守ろうとする
判断力を育てる。

第4学年 規則の尊重

ねらいの例

きまりの意義を理解し、まわりの状況を考えて、きまりを守ろうとする〇〇を育てる。

教材

「雨のバス停留所で」

出典 「わたしたちの道徳」 小学校3・4年(文部科学省)

主題名の例

まわりをよく見て考えるきまり

児童の学習状況を見取る評価

本時の授業での指導で、子供たちがどのような学習を行うことが、内容項目（規則の尊重）を手掛かりとして道徳性を養うことにつながるのか？

- ・規則の意義を理解する。
- ・規則とはどのようなものかを、一つの見方ではなく多面的・多角的に捉えて考える。
- ・規則をどのように守っていくことが大切なのかを自分の体験を想起しながら考える。 など

このような学習をするためには、**教材のどの場面を活用するとよいのか？**



- ・規則の意義を理解する。
- ・規則とはどのようなものかを、一つの見方ではなく多面的・多角的に捉えて考える。
- ・規則をどのように守っていくことが大切なのかを自分の体験を想起しながら考える。 など

教材

雨のバス停留所で

出典 「わたしたちの道徳」小学校3・4年(文部科学省)

①よし子は、どんな気持ちでバス停に駆け寄ったのか？

②よし子は、どんな気持ちでバスに乗る列に並んでいたのか？

◆何かいけないことをしたのか？

多面的・多角的に考えられるようにしよう。

③よし子は、母親の横顔を見ながら、何を考えていたのか？

◆きまりは何のためにあるのか？

自己を見つめて考えられるようにしよう。

本時の指導で重視する評価の視点の例

- ◆規則とはどのようなものかを、一つの見方ではなく、様々な見方で捉えている。
- ◆規則を守ることについて、自分の体験を想起しながら考えている。
- ◆規則を守ることの意義を理解し、そのよさを大切にしようと考えている。 など

授業に対する評価

道徳科の学習指導過程や指導方法に関する評価の観点の例

- ア 学習指導過程は、道徳科の特質を生かし、道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、自己の（人間としての）生き方について考えを深められるよう適切に構成されていたか。また、指導の手立てはねらいに即した適切なものとなっていたか。
- イ 発問は、児童（生徒）が（広い視野から）多面的・多角的に考えることができる問い、道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問いなど、指導の意図に基づいて的確になされていたか。
- ウ 児童（生徒）の発言を傾聴して受け止め、発問に対する児童（生徒）の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。
- エ 自分自身との関わりで、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考えさせるための、教材や教具の活用は適切であったか。
- オ ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるための指導方法は、児童（生徒）の実態や発達の段階にふさわしいものであったか。
- カ 特に配慮を要する児童（生徒）に適切に対応していたか。

道徳科における評価の意義

観点

教師

教師が指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるもの

児童生徒

視点

自らの成長を実感し意欲の向上につなげていくもの

指導に生かされ、児童生徒の成長につながる評価でなくてはならない。

指導と評価の一体化

道徳的行為が実践できる児童生徒の育成

